



7月 園だより

江東区立平久幼稚園
園長 垣脇 史枝



水遊びで育つ力

副園長 松澤伸枝

暑い夏がやってきました。

幼稚園では水を使ったいろいろな遊びを楽しんでいます。泥んこ、絵の具、色水、シャボン玉、スライム、片栗粉、石鹸クリームなど・・・自由に形を変える性質をもち、様々な素材を組み合わせることで多様な変化を生み出す「水」は、子どもたちの好奇心を満足させる万能教材です。子どもたちは、水の冷たさや気持ちよさを楽しみながら、面白さ不思議さ美しさに心を動かし、繰り返し試す中で様々な気付きや発見を体験しています。

年少りす組は、片栗粉の粘土遊びを楽しみました。手の中で固まったり溶けたりする不思議な感触を喜び、集めたり、滑らせたり、握ったり、開いたり、指先や手の平から伝わるヌルヌル、ネバネバ、トロトロなどの感触を夢中になって楽しむ様子が見られました。年中うさぎ組は、スライムを作って遊び、プルプルした独特の感触や色の変化を楽しみました。色が混ざり合い偶然にできた新たな色に心を動かし「これとこれを混ぜたらどうなるのかな?」「すごい!」「きれい!」とあれこれ試してうちにお気に入りのスライムができました。冷やしたらどうなるのかな?と冷蔵庫に入れてみることに・・・子どもたちの探究心はとどまることなく、いろいろな道具や材料を使って「やってみたい!」を存分に楽しみました。年長ぱんだ組は、色水遊びを楽しみました。草花や食紅、絵の具など様々な素材を使って色水を作り出し、遊びの目的に応じて自分たちで適した用具や材料を選び、考えたり工夫したりしながら遊びこむ様子が見られました。「こうかな?」と予想し、やってみて確かめる。(=仮説を立てて検証する)こどもたちの遊びは、まさに小さな研究者のようです。感じたこと考えたこと、気付いたこと発見したことを一緒に遊んでいる仲間と共有しながら、夢中になって遊び、想像力や探究心を育てています。

プール遊びも始まりました。子どもたちは、水の冷たさや気持ちよさ、動きや流れ、きらきらと光る水面、水しぶきの音などを五感で感じながら水に親しみ、歓声をあげて楽しんでいます。大きなプールの中では、いろいろな動きを楽しみながら、水の特性(浮力・抵抗・水圧・温度)を全身で感じ、バランス感覚や水中での体の使い方を体得しています。楽しい水遊びをするために、身支度など自分のことは自分でする、安全に遊ぶためにルールを守ることも学んでいます。幼稚園で友達と一緒に楽しむ水遊びは、子どもたちの感性を刺激し、心も体も豊かに育みます。

梅雨が明けると夏本番!この時期ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思います。

【7月のねらい】

年少 ・身近な夏の自然に触れ、親しむ。

・教師や友達と一緒に、いろいろな水遊びをする中で、感触を楽しんだり心地よさを感じたりする。

年中 ・夏ならではの遊びに興味をもって関わり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

・いろいろな水遊びに喜んで取り組み、楽しさや気持ちよさを感じたり開放感を味わったりする。

年長 ・友達と考えを出し合いながら、一緒に遊びを進めていこうとする。

・運動遊びや水遊びをする中で、自分なりのめあてをもって取り組もうとする。

・夏の自然現象、植物の生長などに関心をもち、気付いたことを伝え合ったり遊びに取り入れたりする。